刻字(篆刻)

展示期間

2025年12月2日(火)～12月28日(日)

市民ギャラリー
篆刻字（篆刻）
龍
道

協力展示
緑青会(木彫家具の会)会長 久保田 哲夫 様
元同僚 嘉藤 源夫 様
花鳥風月
日暮れて道遠し
歓喜雀躍
無為自然

雪月花
思無邪
夢
命

旅情

訳文

疾如風　徐如林
侵掠如火　不動如山

「風林火山」は孫子が説いた兵法に基づく言葉である。
また「理想的に行動するための心構え」として現代でも用いられる言葉。
「いざ動くときは風のように素早く動き」「動かないときは林のように静けさを保ち」「攻め入るときには火のように激しく攻め」「守るときは山のように動かず、しっかり構える」「し」という教えを解説されている。

村
欅

氏名
村上淳靖

金子みすゞ詩
「雲」
こころ
金子みすゞの詩
「こころ」
金子みすゞの詩
ある日ゞ 僕生きる

村上 峰晴

～コメント～

刻字(篆刻)とは

木の板に字を彫り、彫った字に緑青を塗ることです。(他の色でも可)

日本画で使用する岩彩(クジャク石の粉)をフ糊や膠(にかわ)に混ぜ、字の部分に塗りますが、フ糊、膠は扱いにくいので、代わりに木工用ボンドを使用します。

緑青と木工用ボンドをよく混ぜ、筆で塗り、ドライヤーで乾かす。この作業を5～6回繰り返し、ムラがなくなったら仕上がりです。

現在私は、厚東区善和で木工房(唐変木)を経営されている久保田哲夫様に師事をいただいています。

篆書はもちろん漢字や故事ことわざ、山頭火の句、金子みすゞの詩など作品は多岐に渡っており、緑青の深い緑と木の肌の色や字の迫力に深い味わいを感じております。

ご覧いただきました皆様には感謝申し上げます。